



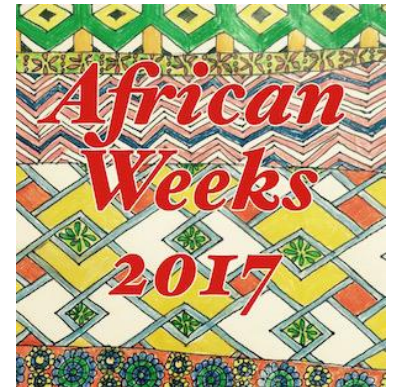
アフリカ地域専攻学生が中心となり企画 アフリカンウィークス開催

～イメージを超えた、現代アフリカの新たな姿を発信する～

東京外国語大学（東京都府中市）において、12月4日（月）～同22日（金）までの3週間、アフリカ地域専攻学生が中心となり企画・運営する「アフリカンウィークス 2017～君の知らないアフリカ」を開催します。

東京外国語大学 国際社会学部 アフリカ地域専攻の学生を中心とする有志が、「君の知らないアフリカ」というテーマのもと、現代アフリカの多様な魅力を紹介する一連のイベントを開催します。

近年、世界におけるアフリカの存在感が増してきています。日本もまた、政府による援助や、企業の進出によって繋がりを深めてきました。日本におけるアフリカのイメージは、貧困、紛争といった負の要素に偏りがちですが、これから日本とアフリカの結びつきが強まる中で重要なのは、現代のアフリカへの多面的な理解と関心です。



今回行われるアフリカンウィークスの目的は、日本ではあまり知られていない現代アフリカの魅力を紹介すること、また、アフリカに興味を持つ人々とアフリカをつなぐことです。豊かな文化、自然、人々の生活が息づくアフリカ。日本にはなじみの少ないこの地域に、私たち日本人も多くのことを学ぶことができる大陸であり、そのメッセージを発信します。



実行委員長 井出有紀さん（東京外国語大学 国際社会学部 アフリカ地域 2年）よりコメント

「アフリカ」と聞いて思い浮かべるものは？貧困、病気、紛争、それとも動物、マサイ族？全部、正解です。同時に間違いでもあります。

日本国内に様々な社会・自然環境があるように、アフリカにも各地で全く異なる文化や特色がありその魅力や状況をひとことで語ることはできないからです。アフリカンウィークス中には、「アフリカの、ふつうのひとの、ふつうの暮らし」に焦点をあてた5つの企画が行われます。日本人にとって負のイメージが先行するこの大陸ですが、多様で豊かな文化や社会があります。皆さまの知らないアフリカに会いに、東京外国語大学にお越しいただけたらと思います。



井出有紀さんは左



添付資料：各イベントの概要

＜本件に関するお問い合わせ＞東京外国語大学 総務企画課 広報係
TEL : 042-330-5151 FAX : 042-330-5140 E-mail : soumu-koho@tufs.ac.jp

① アフリカンブリコラージュ写真展&関連イベント
～アフリカの暮らしから学ぶ～



撮影：近藤 史

アフリカは、本当に「貧しい」のでしょうか？お金やハイテク製品に頼らずとも、身近な素材を上手に組み合わせて生活を豊かにする工夫、「ブリコラージュ」がアフリカでは盛んに行われています。今回の写真展では、NPO アフリック・アフリカから借用したアフリカンブリコラージュ写真 83 枚と、当団体主催のアフリカ写真コンテスト入賞作品 11 枚の計 94 枚などを展示します。また、NPO アフリック・アフリカ理事のアフリカ地域研究者、黒崎龍悟先生をお呼びし、アフリカンブリコラージュに関する講演会「アフリカの人々の器用仕事（ブリコラージュ）に学ぶ」を行っていただきます。

② アフリカの絵本展&読み聞かせ会
～アフリカの語りの世界に浸る～

NGO アフリカ子どもの本プロジェクトからお借りした絵本 60 点・関連パネル約 20 点の展示、2 回の読み聞かせ会を行います。



展示作品は単にアフリカを舞台とするだけのものではなく、アフリカ人やアフリカン・ディアスポラ作家、アフリカに暮らした経験のある作家により描かれており、アフリカ各地に息づく口承伝承・事実に基づくものや作家自身の創作によるものなど多岐にわたります。アフリカでの生活を描く物語を通じ、小さなお子さんから大人までアフリカをより身近に楽しく感じていただきたいと思います。

③ アフリカ映画上映会&講演会
～アフリカ人が描くアフリカを観る～



本学が実施す

る世界諸地域の文化・社会理解を目的として不定期に開催している映画上映会 TUFs Cinema プロジェクトの一環として、エチオピア映画「テザ 慟哭の大地/TEZA」(ヴェネチア国際映画祭審査員特別賞・ワガドゥグ全アフリカ映画祭グランプリ他)の上映、エチオピア研究者眞城百華氏による講演会・解説を行います。この映画はエチオピア人監督ハイレ・ゲリマが自身の経験をもとにアフリカン・ディアスポラの「居場所」をめぐる葛藤と未来への希望を描いたものです。欧米諸国や日本など先進国の視点ではなく、アフリカ人自身の視点からアフリカを描いた作品を通じ自然や文化の豊かさと社会的問題の明暗両方が混在する現実を深く理解することができるでしょう。

[あらすじ]1970 年代、エチオピア。医者を目指しドイツに留学していたアンベルブルは、外国での人種差別と、皇帝ハイレ・セラシエの支配から軍事独裁政権に取って代わった故国の現状に失望し、荒涼とした故郷の村に帰ってきた。村で待つ母と村人たち。その中に佇むひとりの謎の女性アザヌ。蘇ってくる幼少期の記憶と大地の霊、忘れることができない夢に導かれるように、アンベルブルは過去と現在を行き来する。そこに迫りくる独裁と暴力の影。この国に未来はあるのだろうか。その先に見えてくる希望の光とは。

2008 年/エチオピア=ドイツ=フランス/アムハラ語、ドイツ語、英語/140 分/カラー/日本語字幕付

④ アフリカジャンベ音楽会&留学生交流会

～日本とアフリカをつなぐ～

アフリカ興味を持つ日本在住の人々とアフリカ人留学生をつなぐことを目的に、音楽や踊りを通じた交流会を開催します。



多摩美術大学ジャンベ民族音楽部の方々によるジャンベ(西アフリカの伝統打楽器)のライブ、ワークショップや日本の踊りの披露を行う予定です。プログラムの最後には交流会も予定されています。

⑤ アフリカ料理の提供

～人はその食べるところのもの～

食堂にて、ジョロフライス(ガーナのチキン添えスパイスライス)とフランゴ・ア・アフリカーナ



ナ(モザンビークのレモンクリームチキンステーキ)を2日間にわたり提供します。知識だけでなく、食文化を通じて人々の暮らしを直接感じ、アフリカに親しんでもらいたいです。また、メニューは学生団体 W-Win の協力のもと、売り上げの一部をアフリカの子どもたちに給食を提供するためのお金として寄付します。

⑥ ルワンダコーヒー&アフリカグッズ販売会

他イベントの開催に合わせ、学生団体 Femme Café が扱うルワンダのスペシャルティコーヒーと、本学のアフリカ地域研究者やアフリカ地域専攻の学生がフィールドワークや留学でガーナ、セネガル、ニジェール、カメルーン、ザンビア、南アフリカへ渡航した際に入手した商品の販売会を行います。アフリカ各地のものを通じてアフリカの多様性や知られざる魅力を感じていただきたいと思います。

【場所と日時】

○12/4(月)～22(金) 8:00～20:00 プリコラージュ写真展 研究講義棟1階 ガレリア

[17日(日)は除く。9日(土)13:00～16:00、10日(日)13:00～18:00 学内のアゴラ・グローバルカフェ、16日(土) 15:30～19:30 大会館円形食堂に移動し特記時間のみ展示]

○12/4(月)～22(金) 12:00～17:00 アフリカ絵本展 アジア・アフリカ言語文化研究所1階 資料展示室

[12日(火)、17日(日)は除く。9日(土)13:00～16:00、10日(日)13:00～18:00 学内のアゴラ・グローバルカフェに移動し特記の時間のみ展示]

○12/9(土) 14:00～14:30 (展示は16:00まで) アフリカ絵本読み聞かせ会 アゴラ・グローバルカフェ (販売会同時開催)

○12/10(日)14:00～17:00 アフリカ映画「TEZA 慟哭の大地/TEZA」上映会&眞城百華先生講演会・解説 プロメテウスホール (17:00～17:30 コーヒー&グッズ販売会同時開催)

○12/16(土)16:00～19:30 アフリカ音楽イベント(多摩美術大学ジャンベ民族音楽部出演)&アフリカ留学生交流会 円形食堂 (15:20～16:30 コーヒー&グッズ販売会同時開催)

○12/12(火) 11:00～14:00 (ジョロフライス限定100食) 学生食堂 ミール

○12/14(木) 11:00～14:00 (フランゴ・ア・アフリカーナ限定60食) 学生食堂 ミール

○12/17(日)14:00～16:00 アフリカの絵本読み聞かせ会 紅葉丘文化センター (東京都府中市)

○12/18(月)17:40～19:10 プリコラージュ展示関連企画 黒崎龍悟先生特別講演会「アフリカの人々の器用仕事(プリコラージュ)」研究講義棟102教室

○12/21(木)9:00～17:30 コーヒー&グッズ販売会 研究講義棟101教室付近